

## 令和8年第6回教育委員会会議録

### 1 日時

令和8年4月23日（木）16時30分

### 2 場所

教育委員会会議室

### 3 出席者

教育長：下川祥二

教育委員：原志津子、武部愛子、徳成晃隆、沖田由香、谷口倫一郎

事務局：小川教育次長、齊藤理事

浦塚総務部長、中川原総務課長、山村高校教育課長

### 4 会議事項

#### (1) 付議事項

付議案第30号 福岡市立高等学校学則の一部改正案

#### (2) 臨時代理報告事項

なし

#### (3) 協議・報告事項

なし

### 5 開会

教育長開会を宣告 16時35分

### 6 付議事項

#### ▼付議案第30号 福岡市立高等学校学則の一部改正案

山村課長より説明

《原案どおり可決》

[質疑等]

(徳成委員)

- 昨年度末の入試状況について、高等学校の就学支援金制度の所得制限撤廃などもあってか、福岡県下の公立高校の5割程度で定員割れしていると聞いている。私立高校では、共学化した学校をはじめ増えている学校と、一方でかなり減って

いる学校とで格差が生じている。時代に即して改革を進めていかないと厳しいと感じている。

福岡女子高校は共学化するなかでも定員を80人減らすということだが、共学化に伴って志願者が増えた場合、定員を増やす予定はあるのか。

(山村課長)

- 今年度から私立の授業料無償化がスタートしたが、その影響が本当に見えてくるのは今年度の入試倍率からではないかと考えている。

福岡女子高校については、総合学科への改編に伴い科目数が増加し、必要な教室数も増えている。定員を増やすとなると増築等を検討せねばならず、教員定数の問題もあるため、簡単に増やすということは考えていない。

(下川教育長)

- 私立高校無償化の影響を受けてか、市立高校は志願倍率がギリギリでおおよそ1倍を超えた状況で、県立高校はもっと厳しい状況であったと聞いている。

(原委員)

- 今年の博多工業高校と福岡女子高校の志願倍率はどうだったのか。

(山村課長)

- 博多工業高校は、全体で1.10倍、建築科のみが1倍を切っていて0.95倍となっているが、第2希望で建築科を希望していた生徒もあり、定員は埋まっている。

福岡女子高校は1.15倍と昨年度より上昇している。倍率の上昇に伴い、もっと魅力的な学校になることを期待している。

(下川教育長)

- 中学校をまわっていると、男子で食育系や栄養系の資格を取りたいという生徒もいるようなので、来年度以降の共学化の影響を期待している。

## 7 臨時代理報告事項

なし

## 8 協議・報告事項

なし

## 9 閉会

教育長閉会を宣告 16時46分